

# 自動車整備作業中の事故防止について

厚生労働省ホームページ「職場のあんぜんサイト」に、全産業で発生した労働災害について労働災害統計・災害事例が掲載されており、日整連では、自動車整備業における直近 10 年間の統計を抽出し、まとめましたので、整備作業における事故防止対策の参考資料としてご活用ください。

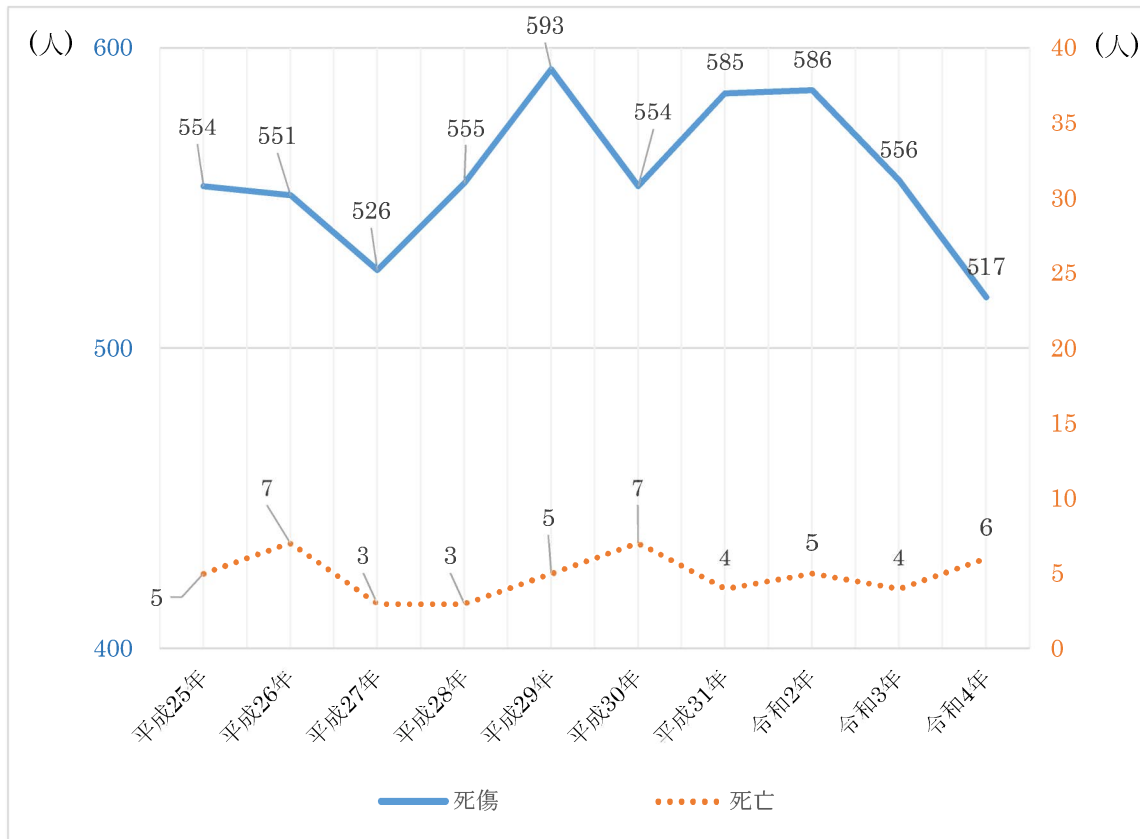
## 1. 自動車整備業の労働災害の状況

自動車整備業における直近 10 年間の労働災害事故の状況はグラフ 1 のとおりです。

死傷者数の推移については、平成 28 年以降横ばいまたは増加の傾向にありましたが、令和 4 年の死傷者数は 517 名となっており、前年から約 40 名減少しております。

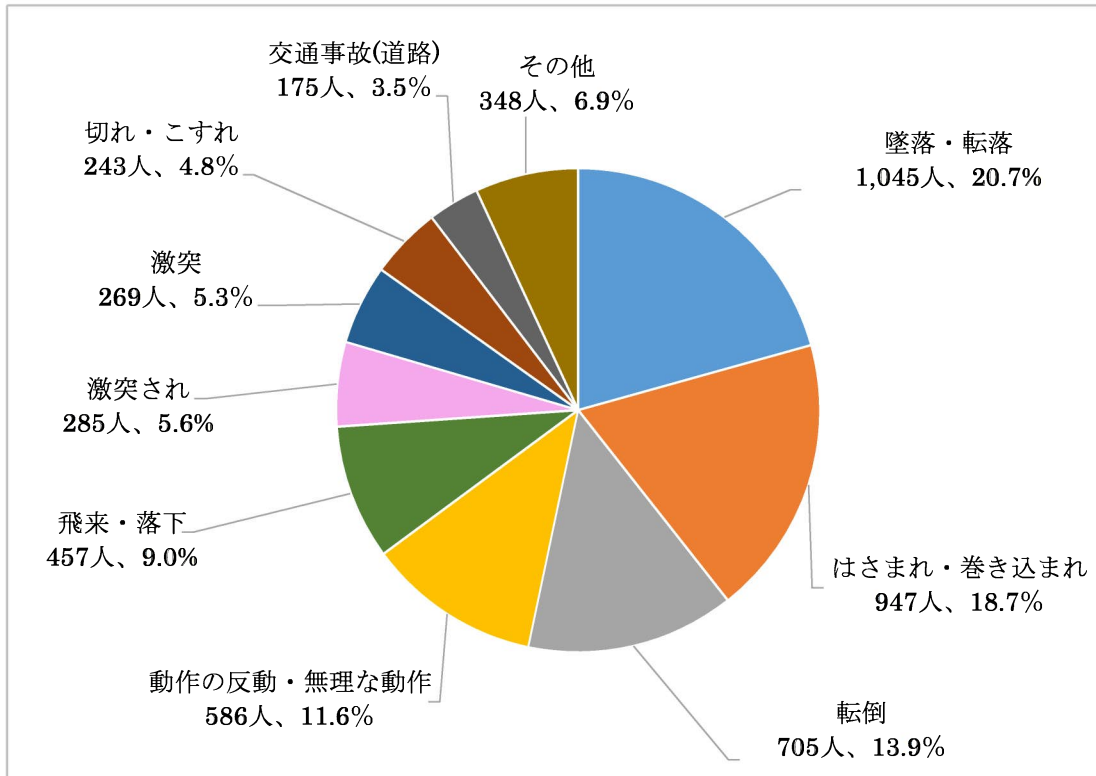
それに対し、死亡者数の推移について、令和 4 年は 6 名の死亡者が発生しており、前年より 2 名増加している状況です。

グラフ1:自動車整備業の労働災害事故による死傷者数及び死亡者数の推移



グラフ 2 は、平成 25 年から令和 4 年における労働災害死傷事故を事故型別の割合で表したものです。

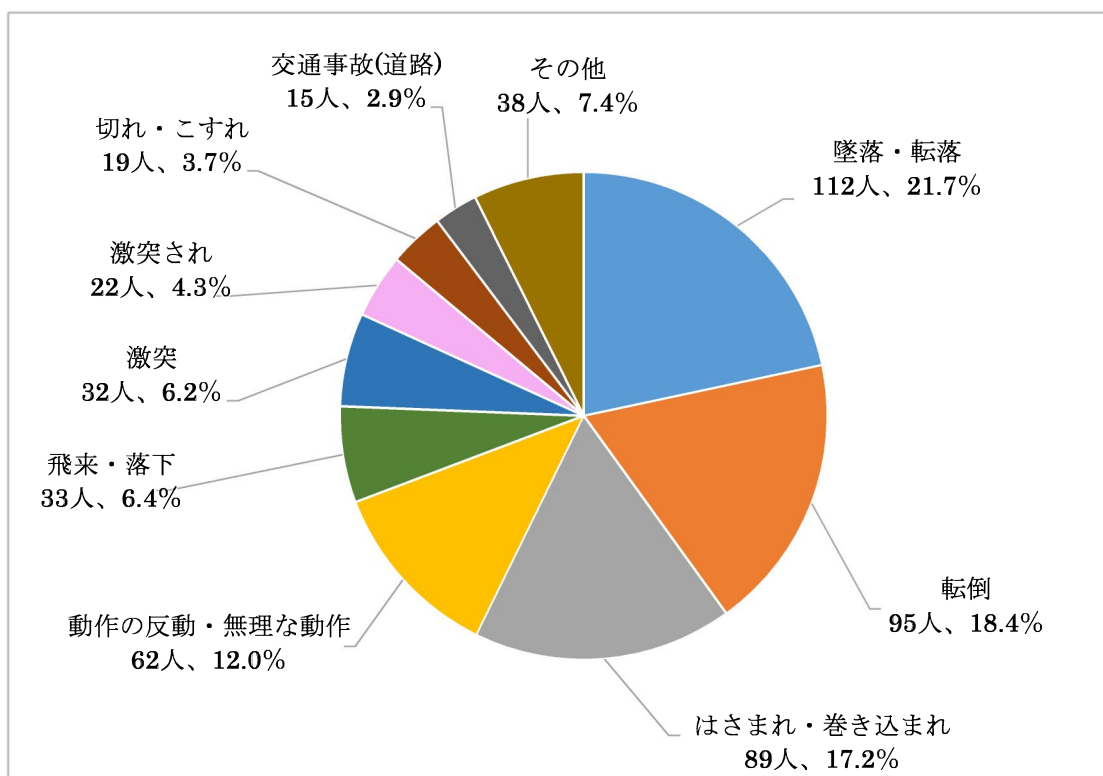
グラフ 2: 事故型別 死傷事故発生割合(平成 25 年～令和 4 年)



グラフ 3 は令和 4 年の労働災害死傷事故をグラフ 2 と同様に事故型別の割合で示したものです。

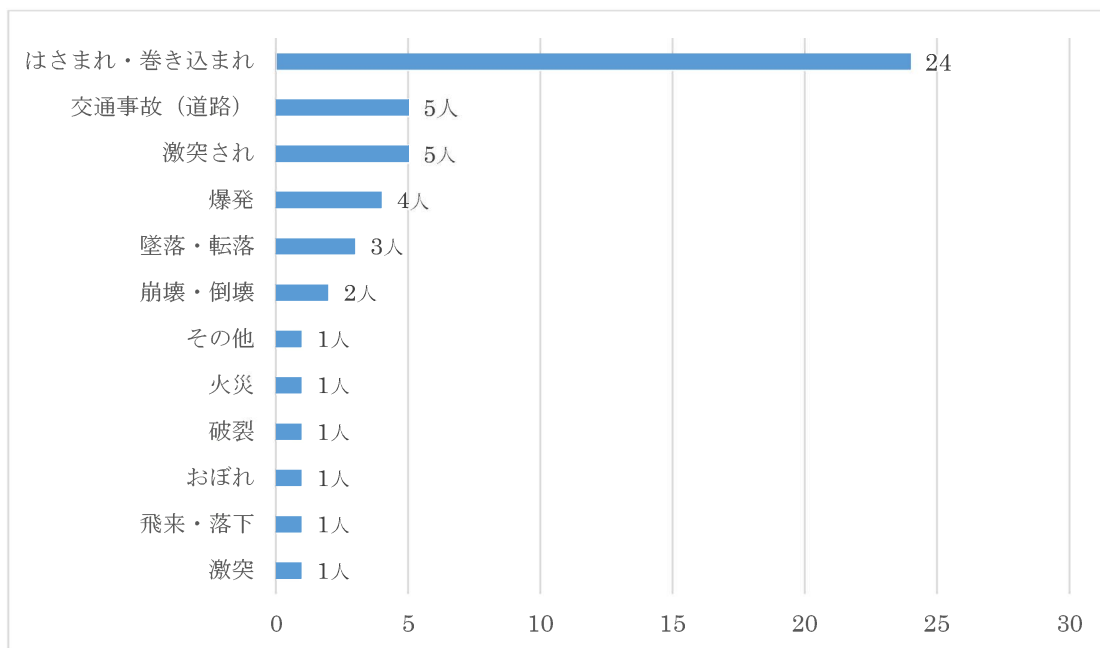
これらから、両グラフとも事故型別の割合はほぼ同じような状況であることから、毎年、類似した状況において労働災害死傷事故が発生していると推測されます。

グラフ 3: 事故型別 死傷事故発生割合(令和 4 年)



グラフ 4 は、平成 25 年～令和 4 年の死亡者数を事故型別に発生割合の多い物の順に棒グラフにしたもので、「はさまれ、巻き込まれ」の割合が一番多く、毎年複数の方が亡くなられています。

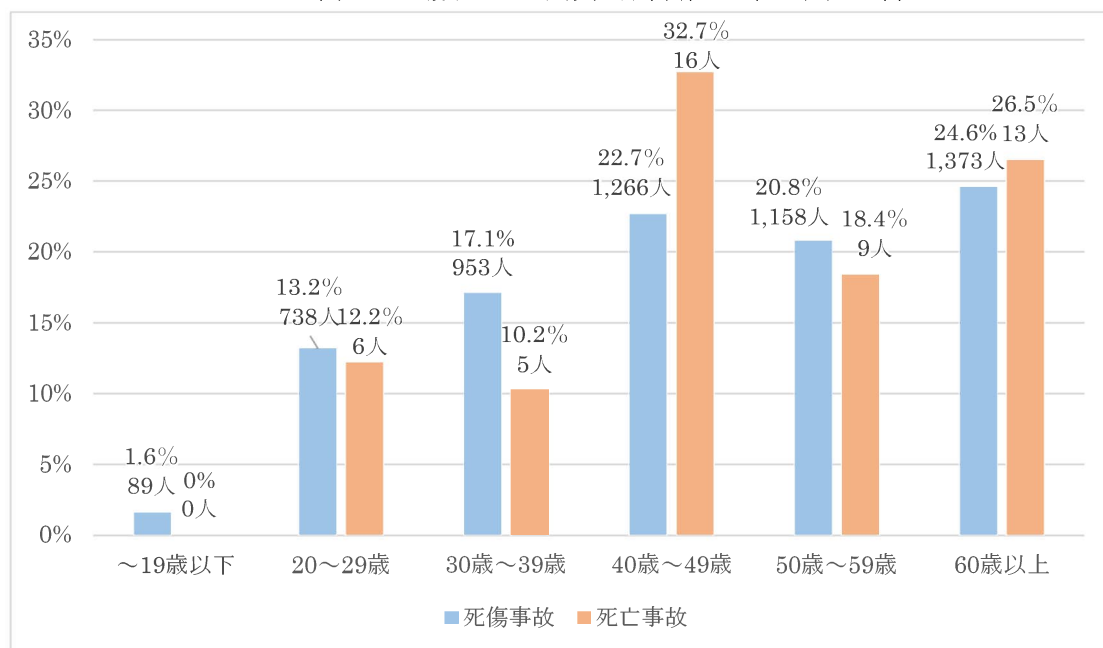
グラフ 4: 事故型別 死亡者数(平成 25 年～令和 4 年)



グラフ 5 は、死傷者数及び死亡者数を年齢別に表したものです。

以前までは、60 歳以上の年代の死亡者数割合が大きくなっておりましたが、令和 3 年の統計から、直近 10 年間の累計で 40 歳～49 歳の死亡者数割合が高くなっており、令和 4 年の統計時も同様に、40 歳代の方の死亡事故の割合が最大となっております。


グラフ 5: 年代別 死傷者・死亡者数割合(平成 25 年～令和 4 年)



## 2. 整備作業中における事故発生事例とその対策

日整連に報告のあった令和4年度中の事故事例について、対応策等をまとめましたので、ご参考ください。

### 【事例①】 整備作業中の大型車両に轢かれて死亡


	<b>【被害状況】</b> 死亡者1名
	<b>【事故状況】</b> 整備作業後の大型車両において、左タイヤ付近の路肩灯が点灯していないことに気付いたため、常駐している外注作業員に対し、口頭で路肩灯の修理を依頼。 駐車場にて、当該作業員が路肩灯の修理作業を行っていた際に、別の従業員が作業中の作業員に気づかず、大型車両を移動したところ、作業員が轢かれて死亡した。（1人で作業をしていたため推測。）
	<b>【防止対策】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自社の従業員のみならず、外注作業員においても作業実施状況の管理等を徹底する</li><li>・ 安全ルール及び車両誘導のルールの徹底</li><li>・ 危険予知トレーニングの実施</li></ul>

### 【事例②】 フォークリフトの整備作業中にジャッキが外れ下敷きとなり死亡

	<b>【被害状況】</b> 死亡者1名
	<b>【事故状況】</b> フォークリフト（小型特殊自動車）の点検・整備のため、後輪に輪留めをして前方を2トンジャッキで上げて作業を行っていたところ、ジャッキが外れフォークリフトの下敷きとなり、死亡した。（1人で作業をしていたため推測。）
	<b>【防止対策】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本事故においては、適したジャッキ・機器を使用していなかったことが起因している可能性があるため、対象車両及び整備内容に適したジャッキ・機器を使用する</li><li>・ ジャッキアップ時の安全確認の徹底及び安全教育の再徹底等</li></ul>

整備作業中のちょっとした油断、不注意、判断ミス等が災害事故を起こす要因となりますので、災害防止のための基本対策等につきましては、「安全整備作業の手びき」をご活用し、職場の安全確保を図るようお願い致します。

**「改訂版 安全整備作業の手びき」**  
(一社)日本自動車整備振興会連合会・日本自動車整備商工組合連合会



- I 自動車整備業の労働災害の現況
- II 整備作業中における重大事故発生事例
- III 自動車検査場での事故発生事例
- IV 災害防止のための基本対策
- V 安全な整備作業のための留意点
- VI 主な機器の適切な取扱い
- VII 事故防止のための取組み事例
- VIII 不慮の災害に備えた保障制度